

スラリーコーティング WGのご案内

神戸大学 菰田悦之

スラリーコーティング WGの目的

粒子分散液（スラリー）の塗布により様々な工業製品が製造されていますが、取り扱われるスラリーが多様であることに加えて、非ニュートン性・降伏挙動・沈降性・粒子凝集などスラリー特有の複雑な挙動があるため、塗布条件は粘度などを手掛かりに経験的に決定せざるを得ないのが実情です。そこで、当スラリーコーティング WG ではスラリー性状に応じた適切な塗布方法とそれを予測するためのレオロジー特性と塗布性との関係に関する知見を集積し、多様で複雑なスラリーコーティングにおける指針を得ることを目的とします。現時点で想定される活動プロセスの一例は以下の通りです。

スラリーコーティング WGの活動の流れの一例

1. 実際のスラリーに関して、求められる要件を抽出し、解決すべき課題を明らかにする。
2. モデル系スラリーを決定し、作成する。
3. モデル系スラリーについて、レオロジー解析を行う。
4. モデル系スラリーを用いて、塗布試験を行う。
5. モデル系スラリーのレオロジーと塗布試験結果の関係について議論する。

当 WG における共通認識事項

- ✓ 参画メンバーは、可能な範囲で関連する何らかの情報を提供して下さい。情報収集を目的として参加することはご遠慮下さい。（ギブアンドテイクの精神）
- ✓ WG 内で知り得た情報の全ては部外秘とします。
- ✓ 研究成果を対外的に発表する場合、その内容は当該活動に参加した全てのメンバーに対して合意が得られた範囲に限定します。
- ✓ その他、進め方の詳細や運営方法については、参画メンバー間で相談して決定します。

WG メンバー募集のお知らせ

- 当 WG の設立に際して、参画メンバーを募集します。参画を希望・検討されている会員の方は、5月末日を目途に komoda@kobe-u.ac.jp (神戸大学・菰田)までご連絡下さい。